



令和7年2月28日 発行
 東京都立しいの木特別支援学校
 校長 濱渦 孝治
 担当 鈴木 拓
 電話 0436-66-2790

第10号
 (学校便り)

令和6年度学校評価報告(概要)

副校長 遠藤 隼

3学期が始まって、約2ヶ月が経とうとしています。来週から3月です。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われていますように、3学期はあっという間に過ぎていきます。現在の学年で学校に来る日数は、中学部、高等部の3年生が残り14日、小学部、中学部1・2年生、高等部1年生が残り16日しかありません。新しい生活や学年に向けて、1日1日を大切に充実した学校生活を送ることができるように、教職員一同で子供たちを支援していきます。

さて、2月7日に都立しいの木特別支援学校として最後の「しいの木祭」を行いました。当日は、本校の児童・生徒に加えて、保護者の皆様、関係機関等の皆様に御参観いただき多くの声援をいただくとともに、スムーズな会の運営に御協力いただき、誠にありがとうございました。児童・生徒は、練習の成果を存分に発揮し、みんなで力を合わせて一体感のある「しいの木祭」を作り上げることができました。

また、2月12日には、第3回学校運営連絡協議会を行い、今年度の学校評価の集計結果を基に、本校の成果と課題について協議しました。最初に成果についてですが、「本校は、教職員、両施設職員、保護者、地域住民、関係機関が一体となって、相互に協力しながら児童・生徒の成長を支えていますか？」の質問に対し、100%の肯定的な評価をいただきました。最後の「しいの木祭」での会場全体の一体感は、そのような日頃からの連携をはじめ、児童・生徒の成長に向けて御協力をいただいているからこそその成果であったようにも感じられました。児童・生徒の頑張りを認め、称えてくださる皆様の声援や励ましを自信や力に変え、一人一人がよりたくましく成長できますよう、引き続きましてお力添えをお願いいたします。一方で、「校内施設・設備の安全対策、教室環境の設定」については、課題として御指摘いただきました。分教室として安全に利用できるよう、体育館の雨漏りの修繕や、古い窓ガラスの飛散防止フィルムの張り替えなどを進めておりますが、日頃の校内点検を充実させ、より安全で安心できる環境づくりを行ってまいります。学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました、全教職員で結果を共有し、今後の改善に生かしていきます。

Only One 全員が主役 最後のしいの木祭に最高のアオハルを！

2月7日(金)に令和6年度しいの木祭が開催されました。今年度のしいの木祭のスローガンは「Only One 全員が主役 最後のしいの木祭に最高のアオハルを！」でした。「みんなで最後のしいの木祭を盛り上げ、生徒だけでなく先生たちや、来てくださった方たち全員が青春して欲しい」という気持ちを込めました。今年度も各学部で撮影した動画視聴と授業で作成した作品の展示を行いました。どの学部も日々の学習が成果として表れた動画となっており、とても楽しい時間を共有することができました。

また、開会式では文化部としいの木祭実行委員によるバンド演奏やダンス発表が、午後には高等部3年生の舞台発表がありました。どちらの発表も日々の練習の成果を遺憾なく発揮し、生徒一人一人が輝いており、スローガンどおり、全員が主役となっていました。

各学部の作品展示では、児童・生徒たちが制作した図画工作や美術、家庭科等の作品が鮮やかな彩りを溢れさせていました。

ご参観いただいた保護者の皆様、関係機関の方々、ありがとうございました。(文責：江口 太郎)



3月の予定

1	土	
2	日	
3	月	避難訓練
4	火	身体計測（小学部） 短縮授業日（13:50 下校）
5	水	身体計測（中学部）
6	木	身体計測（高等部）
7	金	身体計測（高等部）
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	授業参観日 短縮授業日（14:40 下校）
12	水	
13	木	しいの木集会
14	金	卒業式予行
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	春分の日
21	金	卒業式、11:40 下校
22	土	
23	日	
24	月	給食終
25	火	修了式、11:40 下校
26	水	春季休業始
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

小学部

しいの木祭では、自分たちがたくさん活躍している小学部の動画はもちろんのこと、他学部の動画も興味をもってよく見ていました。知っている友達が頑張っている姿が、心に響いたようです。全校ダンスの「マツケンサンバ」は、音楽の授業での練習からとても楽しみにしていました。みんなと輪になって回ったり、舞台上昇ってコンガなどの楽器を叩いたりすることができました。みんなマツケンさんの大ファンになったようです。午後の高等部の舞台発表では、太鼓の演奏に感銘を受け、掛け声を真似て、自ら「それ」と言葉も発する児童もいました。最後のしいの木祭、みんなと一緒に盛り上がる楽しさを知ることのできた一日となりました。

2月下旬、小学部に2年生の転入生を迎え、5人でのにぎやかな生活風景が広がっています。（文責：森 澄美子）



中学部

しいの木祭では、普段とは違う環境に、始めは緊張した表情も見られましたが、全校ダンスになると、自然と緊張も和らぎ、楽しそうな表情も見られました。楽器を鳴らして音色を響かせ、笑顔で走り回るなど、保護者や施設職員の皆さんと存分に楽しむことができました。「始めの言葉」や「終わりの言葉」の担当となった生徒は、自信をもってタブレット端末を操作して、多くの方々から拍手をいただくことができました。

中学部の動画や展示作品では、普段の学校生活の頑張りや成果を十分に発揮することができたかと思います。（文責：山田麻衣）



高等部

2月7日のしいの木祭は、スローガンのとおり「全員が主役」として活躍することができました。高等部の動画発表では、クライマックスシーンで涙をぬぐう方もおり、感動の渦が広がりました。生徒たちは、それぞれの個性を生かして参加し「最高のアオハルを」参観者の皆様と共有できたと思います。閉会式での感想インタビューでは会場が「しいの木TV」の撮影現場になり、和やかな雰囲気の中、これまでの苦労が吹き飛ぶような嬉しい感想をたくさんいただくことができました。このような大きな行事を乗り越えたことで、生徒たちは大きく成長しました。事前の準備や当日にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。（文責：古山 武）

